



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1999年4月1日発行 第19号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

1999年度定時総会開催のお知らせ

本年度は当協会設立9周年に当たります。会員皆様のおかげをもって、順調にここまで伸展することができました。特に、当協会のシンボル事業である「スペインにさくらを植樹」することも、これまでに幾多のトラブルや困難を乗り越え、多くの方々のご協力のもと、大きな成果を見ることができました。この経過については随時本会報でお知らせして参りましたので、皆様には、すでに十分ご存知のことと思います。

そんな成果を踏まえ、明年協会は創立10周年の節目を迎えることになります。そして、本年度はその10周年を迎えるための、記念行事の企画と準備の年となります。

1999年度定時総会では、このことを会員の皆様と討議しなければなりません。ご多用のこととは思いますが、ぜひとも皆様お誘い合わせのうえ、総会にご参加ください。

なお、総会開催要領は次のようになっています。

記

日 時：1999年5月29日（土）

午後3時～午後4時まで、定時総会

- 議題
1. ロンダ市ペドロ・ロメロ祭公式招待訪問団の報告
 2. 1998年度事業報告、並びに収支決算報告について
 3. 1999年度事業計画（案）、並びに収支予算（案）について
 4. その他

午後4時～午後5時まで、前スペイン大使坂本重太郎顧問の講演

坂本顧問は横浜スペイン交流協会の顧問となられて初めての講演です。

午後5時～午後7時まで、親睦会（立食パーティー）

会費3,000円（オーバー分については協会が負担します）

会 場：もみじ坂会館（警察共済組合）2階宴会場

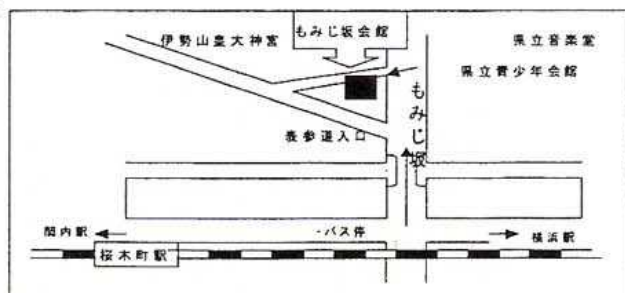
横浜市西区宮崎町56

交通 市バス 紅葉坂停留所下車

徒歩4分

JR、地下鉄、東急線とも

桜木町駅下車 徒歩8分



申込方法：同封のハガキを4月30日までに投函して下さい。

会費納入方法：同封の振込用紙で4月30日までにお近くの郵便局から1名3,000円をお振り込み下さい。

ー2000年協会設立10周年 記念事業を成功させよう!!ー

★総会のご案内の記事でも紹介しましたが、明年の協会設立10周年では記念イベントを予定しています。

下記の5テーマが事業計画の候補です。行事を具体化するためにアイデアを募集します。

何を何処でどのようにやるかをご提案としてお送り下さい。

- ★テーマ案 (1) 2000年4月初旬 観桜親睦会
(2) 2000年4月初旬 ロンダ市民代表团と交流
(3) 2000年5月下旬 2000年度定時総会
(4) 2000年7月2日～8日 スペイン写真展
(5) 2000年7月7日 設立10周年祝賀行事
(6) その他

★アイデア送付先 〒221-0835 神奈川区鶴屋町2-14-2
かながわ県民活動サポートセンター レターケース番号184
横浜スペイン交流協会 10周年記念行事係

★お問合せ先 朝倉事務局長 電話 045-801-1246, FAX 045-801-1286

~~~~~ ロンダ市、セビリア市より クリスマスカード届く! ~~~~~

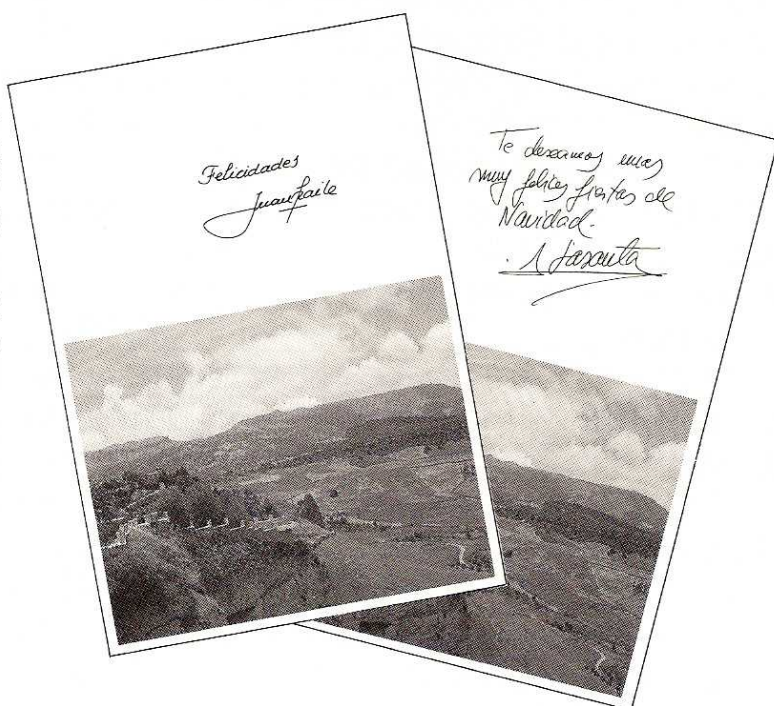
いささか話が古くなりますが、下記の方々から、横浜スペイン交流協会宛てにクリスマスカードが届きました。この紙上を通して会員の皆様にお知らせいたします。

セビリア市 ソレダ・ベセリール・ブスタマンテ 市長様

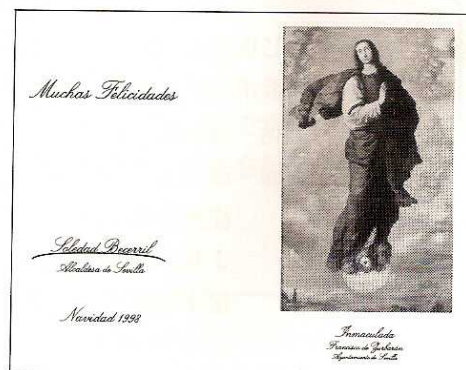
ロンダ市 フアン・フライレ市長様

ロンダ市 アントニオ・ラサント・グティエレス文化担当助役様

▶ ロンダ市フライレ市長からのカード



▲ロンダ市ラサント助役からのカード



▲セビリア市ブスタマンテ市長からのカード

横浜スペイン交流協会 名誉会長 サンチャゴ・サラス大使ご帰国

1995年2月、駐日スペイン大使としてご着任され、その後当協会の名誉会長を快くお引き受けくださったサラス大使閣下が、4年2ヶ月余のご任期を終えられ、この度スペイン外務省へご転任されることになりました。

サラス大使閣下はご任期中、当協会の「スペインへのさくら植樹」に対し大きなご理解を示され、その実現にあたって各関係機関への働きかけ等で、大変なお力添えをしてくださいました。

全会員の心をこめて、ここに改めてお礼を申し上げたいと思います。

なお、大使閣下の離日に先立ち、去る3月16日東京全日空ホテルにおいて、(財)日本スペイン協会の主催で「歓送パーティ」が開かれ、これに下山会長と飯塚常務理事が参加しました。パーティ会場で、サラス大使閣下は下山会長を見つけると「今後もスペインへのさくら植樹が進展していくことを望む」とのご希望を述べられました。

サラス大使閣下の、スペイン本国での今後の更なるご活躍をお祈りいたします。



▲当協会主催のディナーコンサートに参加された折のサラス大使（中央）。
会員と一緒に「クラベリートス」を合唱された。

会員どうしの交流で相互理解を 第二回／第三回会員親睦会

昨年10月25日の第一回に引き続き、2月7日と2月27日に第二回、第三回の会員親睦会が行われました。第二回では16名、第三回では22名の参加者があり、席上では協会旗の披露と会員バッチの配布があり、その後各自の自己紹介、続いて参加者どうしでの意見交換がありました。同じ会員でありながら、普段あまり出会うこともない人との新しい出会い、そして話し合いは、会員間の深い絆を生み、意義のある集いになりました。次に、この親睦会に参加した方からいただいたご意見を紹介します。

一年生の参加記

佐々木けん〔第二回出席〕

「懇親会」に相当するスペイン語は「フィエスタ」だろう。日本語が「知り合いがより深く交わる」という含意が強いのに対して、スペイン語は「新しい友に出会う」と若干色彩が違う。しかし、いずれにしても「楽しむ」ものであることに変わりはない。この種の集まりの成功は、参加者がどれだけ上記の目的を達成したかにかかっている。

今回は前回に比べて出席者が少ないという。日曜日のせいである。出席者の発言を通じて知ったことだが、係りの人は大分苦勞をなさったらしい。私はその必要はないと思う。始めからハンディキャップがあるのだから。この種の努力は非スペイン文化的である。それにしても男性の出席が目立った。退職後この種の市民集会に参加して、女性の多さに圧倒され続けてきた。女性による占領に備えて、わざわざ「男性の…」という限定詞を冠した催物がある始末だ。



▲親睦会席上での筆者（左）。

ボランティアを＜無償＞の意味で使うことが多いが、本来は＜自発的・志願的＞である。間違って使うと言葉が泣く。

話が深まったと言いがたいが、係りが準備した出席者名簿と電話番号は役に立つと思う。後日、個人的に連絡を取り合えばいい。

3時半、閉会である。何か物足りない思いだが、その理由は親睦には付き物の「生命の水」がないことに気がついた。前例がない、などというのはスペイン文化にはない。ためしにやってみてはいかが。この話を係りの人にしたら「試験的にやってみましょう」ということになって、駅のタベルナ（変なスペイン語！）に寄り、トルキア葡萄酒で一献酌み交わした。ようやく＜今日は何という満足な日だったろう＞という熱い思いがこみ上げてきた。駅頭は帰路に着く人々で忙しい。

桜の花を通じた友好と相互理解

岡田重男〔第三回出席〕

会長から当協会は明西暦2000年は設立10周年を迎え、大きなイベントを企画し、盛大に執り行いたく、記念すべき催しが期待され、各位の提案と協力を要請されました。引き続き、親睦会を兼ね20余名の参加者各位の自己紹介に入り、動機はさまざまなれど、それぞれがスペインと関わり、スペインに日本の桜を咲かせようとの創立当初からの基本理念に集約され、またその桜を通じて両国の友好関係が構築維持されるわけであり、積極的な意見がありました。ここに全ての意見を網羅はできませんが、斟酌しながら私なりに要約させていただきます。

会長・事務局をはじめ参加者各位の熱意・思い入れが感じられ、来年は次なる10年を迎えるに相応しい行事が展開されん事を願っております。わが国とスペインとは歴史的には16世紀以来の関係であり、民間レベルでも友好関係を継続していくことは当然としても、改めて在るがままのスペインを理解し、客観的評価を自分なりに持つ必要があります。また、会員の何かはお役に立ちたい情熱とともに、個人の趣味的要素を加味した自己実現を図れる楽しい場でもあらねばならず、今回の自由で潑刺とした各位のご意見でそれなりの相互理解が得られました。今後更なる会の発展のために、時空を超えた新鮮な情報のやり取りが可能で便利なインターネットを採用・活用して、世界に開かれた情報発信の窓口であるホームページを開設したら如何かと提案したく、友好関係と相互理解の強化手段の一助になるものと思います。



▲マルページャにて（中央筆者）。

第2弾！ 海外旅行スペイン語 実践集中講座開かれる

第17号、第18号の「スペイン語講座ニュース」でお知らせしましたように、昨年9月に引き続き2回目の講座が、去る2月9日（火）、16日（火）、23日（火）の3日間、かながわ県民サポートセンターで開れました。

参加者は男性3名、女性15名の18名で、協会員3名、会員外15名でした。会員外の方々の多くは、市内の関係団体に配付したチラシを見て応募された方、1月27日付神奈川新聞の本講座の記事を見て申し込まれた方、その他協会員の友人等で、ほとんどがスペイン語は初めてという方でした。

そのためか、初日に顔を合わせたときは皆さん不安げでした。しかし、栗山先生の歯切れよく、メリハリの効いた授業が始まり、ユーモアと表情豊かなゼスチャーに教室はたちまち笑いのウズとなりました。皆さんの緊張も一気にとけて、初めてとは思えない程、口が良く動き、イキイキと楽しげに学ばれていました。事実、初日終了後、担当者のところに何人もの方から電話があり、異口同音に「スペイン語があんなに楽しいものとは知らなかった」とおっしゃって居られました。このような雰囲気の中で無事終了することが出来ました。

以下は、参加された方がお寄せ下さった感想文の中から、無作為に選ばせていただき掲載いたしました。（敬称略）



▲栗山講師のユーモア溢れる講義は受講生に大好評だった。

素敵な先生と魅力的な講座

芦野 奈津子

今回初めてこのような協会があることを知りました。以前からスペイン語の教室に通いたいと思っておりましたが、カルチャーセンターなどは、料金が高いためらっていました。

料金も良心的で、また素適な先生が教えてくださった今回の講座はとても魅力的でした。

3日間だけで淋しい気もしましたが、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

有難うございました。今後も会員以外にも門戸を広く開けていただけると嬉しいです。

あっという間の3回終了

岩岡 秀子

栗山先生の楽しくわかりやすいスペイン語講座も、あっという間の3回が終了してしまいました。3月早々に、スペイン旅行を予定しておりますので、少しでも習得できたらと参加させていただきました。またの機会に是非参加したいと思います。ありがとうございました。

初心者が参加する勇気を与えてくれる

谷田 静

自慢にはなりませんが、スペイン語のSの字も知らないでの参加でした。それを旅行用とは言え、3回で何とかなるかも？ なる訳がありませんよね。

加えてこの年（還暦過ぎ？）です。年齢のことは言うまい、考えまいとしましたが、それが如何に無駄な抵抗であったかを、とことん思い知らされた3週間でした。

しかし、記憶することの苦しさや絶望と、教室での汗と恥をもってしても「楽しかった！」です。

今後もし是非また開講を期待しています。そして、この1度に3回ポッキリと言うのも、全くの初心者が参加する勇気を与えてくれると思います。

3カ月続けてほしい講座

甲斐 伸也

栗山先生の、身振り手振りを交えての熱心なご指導に、1回1時間30分という時間があっという間に過ぎてしまいました。大変感謝致しております。せめて3カ月ぐらい講座を続けて頂けたら、更に有意義だろうと思います。

フランシスコ・ザビエル来日450周年記念展

1549年8月15日、フランシスコ・ザビエルが日本人ヤジロウに導かれて鹿児島島の地に上陸してから、今年ちょうど450年目に当たります。それを記念して1月15日からの川崎市市民ミュージアムを皮切りに日本中の各地で順に『大ザビエル展』が開催されています。

川崎市の次は4月～5月が山口、そして6月10日～7月20日東武美術館（東京・池袋）で開催されます。これ以降は7月～8月鹿児島、9月～10月岡崎、11月～12月長崎と予定されています。

この展覧会にはザビエルのことだけでなく、彼が日本の文化に与えた影響などの展示もあり、なかなか興味深いものがあります。

6月、7月は東京での展示（東武美術館）ですから、興味と関心をお持ちの方はご覧になられるとよいでしょう。



▲川崎市市民ミュージアムの「大ザビエル展」チラシ

ースペイン・ミニミニ情報ー

◎マドリードーバレンシア間に高速道路開通

昨年12月3日、最終区間の工事が終わり、マドリードーバレンシア間に高速道路が開通しました。これにより、2都市間の所要時間が今までより1時間短縮され、3時間で移動できるようになりました。

◎スペイン国内の世界遺産、新たに3個所指定

AIYES通信11号で、スペイン国内にある世界遺産23個所を紹介しましたが、これに加えて、次の3個所が新たに指定を受けました。これでスペイン国内にある世界遺産は26個所ということになり、世界各国でも類を見ないほど多くの地点が世界遺産として、指定を受けたことになります。

●アルカラ・デ・エナーレス (Alcalá de Henares) の大学と旧市街

アルカラ大学は1293年に創立された由緒あるもの。またこの町には天正の少年使節や支倉常長なども立ち寄っています。

マドリードから近く、電車でもバスでも簡単に行けるので、スペインリピーターにはお勧めです。

●オビエド (Oviedo) 市旧市街

すでに指定を受けているアストゥリアス地方のブレ・ロマネスク教会群に追加する形で指定されました。オビエド市旧市街は、中世の町並みがよく残されています。AIYES 11号で紹介のスペインの世界遺産リストでは第17番目に記載しています。

●地中海沿岸の洞窟壁画群

地中海沿岸を中心におよそ800ほど発見されている先史時代の壁画。バレンシア地方のカステジョン県に特に多くあります。しかし、現在のところ観光用に整備されているところが少ないのは残念です。



▲アルカラ・デ・エナーレスにある旧大学の正門。
この大学は現マドリード・コンプルテンセの前身。

◎バルセロナ近郊にアウトレット・モール誕生

日本でも、横浜市金沢区にできたベイサイド・マリーナなどアウトレット・モールと呼ばれる形式の商業地区が話題になっていますが、スペインにもアウトレット・モールが誕生しました。場所はバルセロナの北東にあり、A7高速道路で約30分。列車ではバルセロナ・サンツ駅から約40分のGranollers駅かCardedeu駅で下車。ここからタクシーで数分のところにあります。バルセロナで飽きたら、チョット足を伸ばしてみるのも面白いかも？

1999年度年会費納入のお願い

年会費納入の時期が変わりました。例年総会の後に年会費を請求してまいりましたが、本年度から総会の前に年会費を納入していただくことになりました。

来年からは、原則として年度末（3月）に年会費を納入していただきます。2000年度の年会費のお知らせは、明年2月の予定です。

年会費納入時期の変更の理由は、新年度事業計画の策定の前に、新年度会員を確定することが会員相互の活動にとって有効であるとの理由からです。

1999年度年会費

正会員 3,000円

賛助会員 10,000円

ただし、今年度は請求事務の遅れのため、4月30日までに同封の振り込み用紙で、最寄の郵便局からお振り込みください。

なお、総会時の懇親会費と一緒に振込用紙になっていますのでご注意ください。

事務局だより

◇グラナダにお住まいの佐藤様ご夫妻からお便りがありました。

当協会の会員が、個人でグラナダにお出かけの節は、一般のツアーでは見られない本当のグラナダをご案内できます（ガイド料は不要）。ご利用の際は事務局までおたずね下さい。

◇入会申込書には会員2名の推薦者が必要です。ところが、これが記載されていないことが時どき見られます。この場合は、正会員として登録いたしかねますので、会員2名の推薦を獲得する日まで保留させていただきます。

◇1998年度の活動が終わりました。貴方は、どのような活動に、ご参加なさいましたか。

スペインサロン、スペイン語教室、親睦会3回、スペイン旅行会話などなどがありました。

しかし、半数の会員の方々に、一年間で一度もご参加いただけないのを、非常に残念に思います。会員同士の交流のために、何かをする事がお嫌いならば会員であることの必要がないように思われます。会員であるからには、年度の協会事業には必ず何かしらに一度はご参加ください。

<編集後記>

春といえば桜、私たちはスペイン各地に桜を植樹してきましたが、関係者や現地の方々のおかげで順調に育っていると聞いて安心しています。何年か後にみんなで桜を訪ねるのが楽しみです。

昨年の横浜は何かと嬉しい話題が絶えませんでした。来年は協会創立10周年、これを機会にこの勢いをかりて不況を跳ね飛ばし、協会の発展と交流を深める努力をしていきましょう。

T.M

* 投稿寄稿宛先 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内
かながわ県民活動サポートセンター
レターケースNo.184 横浜スペイン交流協会会報係